

3次元CAD解析で装置開発を効率化

～ 熱電対検査装置の開発 ～

この技術のメリット

- 実機をつくる前に機械装置の動作確認が可能
- 開発効率が大幅に向上！

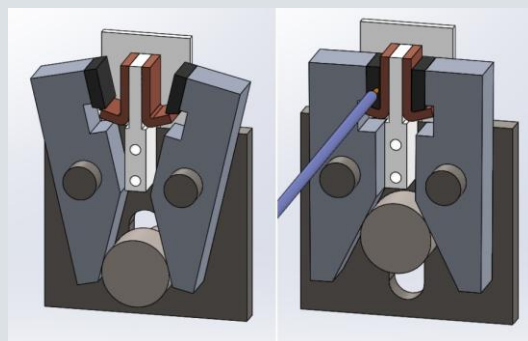


課題（背景）

- 温度センサ（熱電対）製作企業では、製品出荷時に手作業で全数検査
- 「素線を一本一本把持して抵抗値を確認する検査作業を効率化したい」との支援要望あり

概要

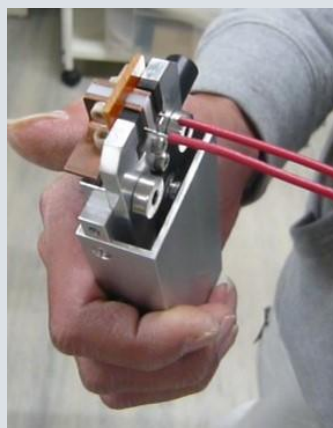
- 3次元CADによる素線クランプ・把持治具の設計、機構の動作シミュレーション手法を支援
- 試作前のシミュレーション動作確認で開発期間が大幅短縮
- 治具使用で検査効率20%向上



クランプ開

素線把持

機構解析シミュレーションによる
動作確認（試作前）



開発した
熱電対検査治具



【改良版】
クランプ部へ素線誘導ガイドを追加

企業様へのご提案

- 3次元シミュレーションで機械装置の「動き」を確認しませんか？
- 一緒に機械装置を開発しませんか？

詳しい技術支援報告



お問合せ

産業システム部 機械システムグループ